

2022年度通常公募_団体情報シート				
団体名	まちぽっと		団体web サイトURL	http://machi-pot.org/
申請事業名		申請受付番号	220134	
主題	地域・非営利協業型モデル事業		申請事業の分類①	②イノベーション企画支援事業
副題	女性をはじめ様々な課題を抱える人々の自立を促す地域社会づくりの試み		申請事業の分類②	
			申請事業の分類③	
優先すべき社会の諸課題選択科目				
領域①	1) 子ども及び若者の支援に係る活動		領域②	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動
分野①			分野②	
① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援		④ 働くことが困難な人への支援		
② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援		⑤ 孤独・孤立や社会的差別の解消に向けた支援		
領域③	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動		⑥ 女性の経済的自立への支援	
分野③	⑦ 地域の働く場づくりの支援や地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援		領域④	
⑧ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援		分野④		
-		-		
申請事業概要				
1. 家事、子育て、介護などと両立できる地域で働く場づくり 仕事づくり、働く場づくりなど 2. スキルアップ、資格取得などができる場、仕組みづくり OJT等の実施など 3. コロナにより増加した負担、自分の時間の確保などのための家事労働への支援の仕組みづくり 家事労働（アンベイドワーク）支援など 4. 仕事、家族、こども、住まいなど、暮らしの相談ができる身近な場づくり 暮らしの相談など などを重層的、複合的に進めるため、コンソーシアム型資金分配団体（3団体）の伴走支援のもとに、同一の地域で複数の実行団体の協業・ネットワークにより、「地域・非営利協業型」の事業の実践モデルをつくり、その波及・普及を図る。				

団体組織情報		
1	●設立・法人取得年月日	
	設立年月日	2007/12/10
	法人格取得年月日	2007/09/26
2	●団体概要	
	団体概要	1.市民自治・参加・分権の普及と強化による地域・福祉のまちづくり調査研究：①研修（講座）等の開催、②「まちぽっとセミナー」の開催 2.地域福祉まちづくり事業：「市民・地域居住支援連絡協議会」の設置・開催 3.市民の主体的活動・事業への助成支援：①「草の根市民基金・ぐらん」助成事業、②「ソーシャル・ジャスティス基金（SJF）」事業 4.活動協力・支援：「空き家活用・居住支援」事業への協力、等
3	●代表者情報	
	代表者名	佐々木 貴子
	代表者の役職	理事長
	代表者名 2	
4	代表者の役職 2	
	●役員	
	役員の数	19人
	（その内）監事/監査役・会計参与の数	2人
5	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数	1人
	●事務局職員	
	職員・従業員合計	8人
	以下、職員・従業員の内訳	
	常勤・有給・有期	1人
	常勤・有給・無期	3人
	常勤・無給(有期・無期)	1人
	非常勤・有給・有期	1人
	非常勤・有給・無期	0人
	非常勤・無給(有期・無期)	2人
6	●資金管理体制	
	決済責任者、経理担当者、通報管理者のうち、決済責任者と通報管理者が異なること	異なっている
7	●区分経理・帳簿	
	1.必要な会計帳簿が備えられている	はい
	2.業務別に区分経理ができる体制である	はい
8	●監査	
	年間決算の監査を行っているか	①監事で実施

助成実績		
1	前年度の助成件数 （件）	22団体（草の根市民基金・ぐらん：5団体、ソーシャル・ジャスティス基金：7団体（4団体はコンソーシアム型）、休眠預金（Pecs）：10団体）
2	前年度の助成総額（円）	3188万円（草の根市民基金・ぐらん：298万円、ソーシャル・ジャスティス基金：500万円、休眠預金（Pecs）：2390万円）
3	助成事業の実績内容	
	・ 資金分配団体（幹事団体）のNPO法人まちぼっとは、これまで草の根市民基金・ぐらん及びソーシャル・ジャスティス基金の2つの助成事業の経験を持ち、250事業・団体を越える助成事業を実施してきた。 ・ 2019年度から休眠預金活用制度にもとづく資金分配団体として実行団体への伴走支援を実施してきた。 ・ 資金分配団体（非幹事団体）2団体は、NPO法人や企業組合など、市民出資・協同労働を基本とした取組みを進めるワークス・コレクティブなどへの支援を行ってきた。近年では、コンソーシアム型（JV（共同企業体）方式）で委託事業などの実施、支援などを行っている。	